

輸送動向について (平成16年度上半期)

平成16年10月

1. 輸送概況

上半期の運転状況は、4月・5月と大きな輸送障害もなく安定した輸送で推移したが、7月の新潟・北陸地区での集中豪雨に始まり、台風がこれまで8回上陸した影響で、高速貨668本、専貨42本が運休した。しかしながら、荷動きについては上半期を通じて堅調に推移し、輸送量全体では前年比101.4%となった。

コンテナ貨物では、15年産米の不作により民間流通米が減送となっている農産品及びエコ関連物資等が前年を下回ったものの、スーパーレールカーゴをはじめとする積合せ貨物等及び自動車部品の出荷が好調であった他、猛暑による関連商品の発送も旺盛になる等、コンテナ全体では前年比103.9%と、平成14年度下期以来、4期連続で前年を上回った。

車扱貨物では、猛暑によるガソリン消費の拡大により発送が旺盛となった石油及び石灰石が前年を上回ったものの、前年度末で一部区間の輸送終了（三井鉱山セメント株）により大幅な減送となったセメントをはじめ、紙・パルプ、化学工業品等が前年を下回り、車扱全体で前年比97.5%となった。

2. 輸送実績

(単位：千トン、%)

種別	上半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	10,894	10,483	103.9%
車扱	6,620	6,786	97.5%
計	17,514	17,269	101.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位：千トン、%)

種別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品	452	498	-46	90.8%
	生野菜青果物	384	389	-5	98.7%
	化学工業品	1,101	1,063	38	103.6%
	化学薬品	818	795	23	102.9%
	食料工業品	1,760	1,741	19	101.1%
	紙パルプ等	1,741	1,673	68	104.1%
	他工業品	740	686	54	107.9%
	積合せ貨物等	1,291	1,123	168	115.0%
	自動車部品	247	194	53	127.3%
	エコ関連物資	239	247	-8	96.8%
	その他	2,123	2,074	49	102.4%
コンテナ計	10,894	10,483	411	103.9%	
車扱	石油	3,980	3,727	253	106.8%
	セメント	631	927	-296	68.1%
	石灰石	330	312	18	105.7%
	車両	684	713	-29	96.0%
	紙・パルプ	254	309	-54	82.4%
	化学工業品	298	342	-45	87.0%
	その他	442	456	-14	97.0%
車扱計	6,620	6,786	-166	97.5%	
合計		17,514	17,269	245	101.4%

車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報